

<2024年2月9日発表>

## ～カーボンニュートラルと観光需要促進にダブルで貢献～ **”レトロフィット電気バス”を14台追加導入します！** **観光名所や名産品のデザインをラッピング！**

- 西鉄グループでは、“レトロフィット電気バス”(西鉄車体技術(株)製造)を14台追加導入し、2月13日より順次運行を開始いたします。この車両には、福岡県および山口県下関市11の自治体・企業・団体の観光名所や名産品をデザインしたラッピングを施します。
- 当社グループでは、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル達成」に向け、中古のディーゼルバスをEV化した「レトロフィット電気バス」の導入を進めております。2022年6月にRAC Electric Vehicles社(台湾)と共同開発した車両を導入して以降、2023年6月には西鉄グループ内で製造した車両を導入し、現在では9台のレトロフィット電気バスを運行しております。
- 今回導入する車両のうち11台には、地域の魅力発信と観光客誘致に向けた取り組みとして、自治体・企業・団体とタイアップしたラッピングを施します。観光名所や名産品といった各地の魅力が存分に詰まったオリジナリティあふれるデザインをあしらいます。
- なお、今回の車両製作や充電設備の増設、ラッピング施工にあたっては、国土交通省の交通・観光連携型事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化」の補助制度を活用いたします。
- 次年度以降も電気バスの導入を進め、2030年度までにはグループ全体の約1割にあたる約250台を導入予定です。当社グループでは、地球に優しい車両の導入を通じて、カーボンニュートラルを推進するとともに、本取り組みをはじめとした沿線地域の観光需要促進に貢献してまいります。

### ■ レトロフィット電気バスの追加導入について

【運行開始】 2024年2月13日より順次

【運行台数】

会社	営業所	レトロフィット電気バス		合計
		現行台数	追加導入台数	
西日本鉄道	片江	8	6	14
	那珂川	0	(新規) 4	4
西鉄バス北九州	小倉	(※) 1	1	2
	戸畑	0	(新規) 3	3
合計		9	14	2.5倍 23

(※) 台湾最大手の電気バスメーカーであるRAC Electric Vehicles社が製作した車両

(参考)レトロフィット電気バスについて

中古ディーゼルバスのエンジン部分をEV化し電気バスに改造した車両のことで、CO2削減(ディーゼルバス比53%削減)に寄与でき、低価格での導入が可能であることなどが特徴です。現在は、RAC Electric Vehicles社より技術指導を受けた、当社グループの西鉄車体技術(株)製の車両の導入拡大を進めています。

## ■ ラッピングについて

【実施内容】 11の自治体・企業・団体とタイアップし、観光名所や名産品など、各地の魅力が存分に詰まったデザインのラッピングを施します。

＜タイアップする自治体・企業・団体＞

[福岡地区]

○飯塚市 ○田川市 ○福津市 ○宗像市 ○朝倉市 ○那珂川市  
○三井ショッピングパーク ららぽーと福岡

[北九州・下関地区]

○北九州市 ○山口県下関市  
○北九州フィルム・コミッション ○公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会

【車両イメージ】 別紙のとおり  
※車両点検で運行しない日もございます。

## （参考）今回活用する補助制度について

【補助制度】 交通・観光連携型事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化」

【補助要件】 交通事業者が、地域の観光関係者と連携して、観光地への誘客、地域内の周遊性の向上、観光地としてのブランド力の強化に資するような取り組み

西鉄オンラインマガジン「N× エヌカケル」で関連記事を紹介しています！ぜひご覧ください！

【レトロフィット電気バスとは？

日本初の自社グループ内で製造・運行する西鉄の舞台裏】

詳しくはこちら→ <https://nnr-nx.jp/article/detail/100>



本件に関するお問い合わせは、西日本鉄道(株)広報・CS 推進部広報課 野口・田中(Tel.092-734-1383)まで

## 別紙 ※北九州・下関地区のみ抜粋

※「西鉄バスナビ」アプリ内の「ついせき」機能で4桁の車号を入力すると、現在の運行情報をご確認いただけます。(URL: <https://www.nishitetsu.jp/bus/app/busnavi/>)

### ① 北九州市ラッピング

【運行営業所】西鉄バス北九州 戸畑自動車営業所(車号 6150)

【運行路線】行先番号 83 番 戸畑駅 ~ 井堀 ~ 砂津 ~ 門司駅前などを運行

【デザインコンセプト】

北九州市内のランドマークを配置し、夜景の美しさを柔らかな雰囲気デザイン。バス後部は、下関市のバスと並べると関門海峡のシルエットが繋がることで関門連携を表現。



### ② 下関市ラッピング

【運行営業所】西鉄バス北九州 戸畑自動車営業所(車号 6225)

【運行路線】行先番号 70 番 戸畑渡場 ~ 中井口 ~ 砂津 ~ 門司港レトロなどを運行

【デザインコンセプト】

海の美しさや透明感の青をベースに、下関の観光名所や特産物を写真で配置。バス後部は、北九州市のバスと並べると関門海峡のシルエットが繋がることで関門連携を表現。





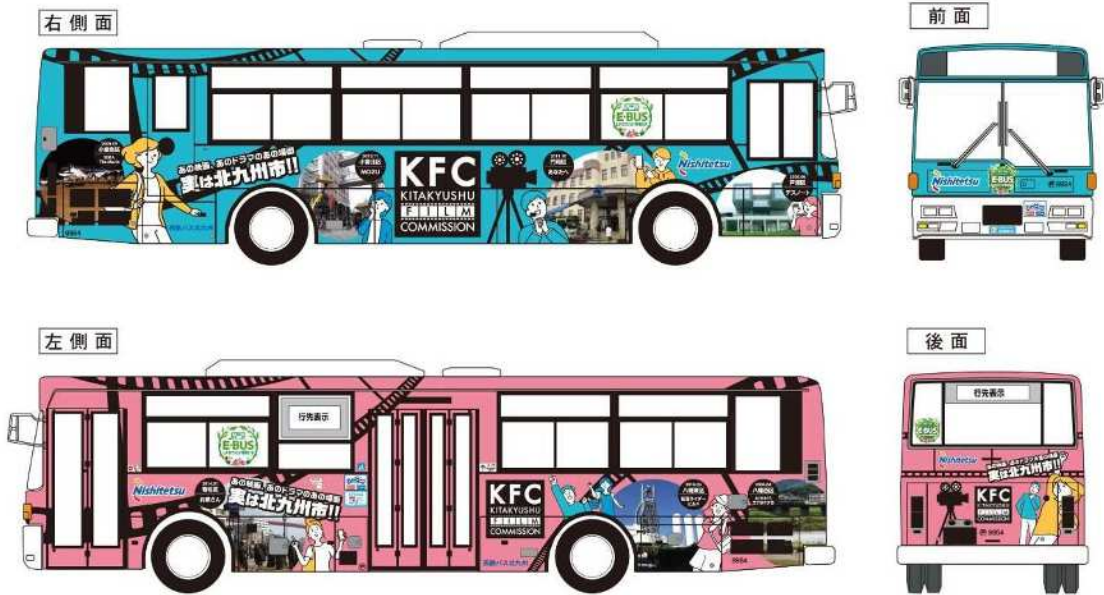
③ 北九州フィルム・コミッションラッピング

【運行営業所】 西鉄バス北九州 戸畑自動車営業所(車号 9954)

【運行路線】 行先番号 27 番 製鉄飛幡門 ~ 井堀 ~ 砂津 ~ 霧丘三丁目などを運行

【デザインコンセプト】

多くの映画ロケが北九州の街で行われている事を、幅広い世代に知ってもらうため、目を引くポップなカラーとイラストの中にロケ地の写真を配置。ロケ地巡りのきっかけとなる車両デザイン。



④ 公益財団法人北九州市どうぶつ公園協会(到津の森公園)ラッピング

【運行営業所】 西鉄バス北九州 小倉自動車営業所(車号 6216)

【運行路線】 行先番号 7 番 砂津 ~ 到津の森公園前 ~ 七条 ~ 製鉄飛幡門などを運行

【デザインコンセプト】

「到津の森公園」の四季の雰囲気と、園内で暮らす動物たちを大きさの違いを含めリアルに配置。のびのびと暮らす動物たちのダイナミックさと可愛らしさをデザイン。

